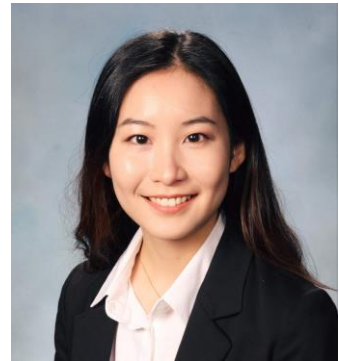


コロンビア・日経奨学金、韓国の金氏に決定

米コロンビア大学ジャーナリズム大学院（ニューヨーク、ジェラニ・コブ大学院長）はこのほど、アジア人記者・学生を対象にした「コロンビア・日経スカラシップ（奨学金）制度」の第5回奨学生を韓国のジャーナリスト、金珉珠（キム・ミンジュ）氏（27、写真）に決定いたしました。同制度は株式会社日本経済新聞社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長谷部剛）と同大学院が2017年に共同での創設で合意。金氏は2023年8月まで同大学院でデータジャーナリズムを研究します。

金氏は米ミネソタ州のマカレスター大学でコンピューター科学などを修めた後、複数のメディアで番組制作やデジタルニュースの発信に携わってきました。2022年6月まで、環境問題に取り組む韓国の非営利組織（NPO）「Solutions for Our Climate」のメディアエディターを務めたほか、韓国のアリランTVやミネソタ州のラジオ局で番組制作を担当。金氏は「スカラシップがなければコロンビア大ジャーナリズム大学院で教育を受ける機会は得られなかった。データジャーナリストとして、これからも気候変動やエネルギー政策について分かりやすく優れた報道を続けていきたい」と話しています。



「コロンビア・日経スカラシップ制度」では、コロンビア大学ジャーナリズム大学院がアジア全域を対象に将来有望なジャーナリストを毎年1人選出し、日経がこれを承認。奨学生は10万ドル（約1400万円）の奨学金を得て、データジャーナリズムや経済報道などについて学びます。修士号を取得後はそれぞれの母国・地域に戻り、民主主義の根幹をなす「言論の自由」に基づく健全なジャーナリズムを根付かせる先導役を担います。

コロンビア大学ジャーナリズム大学院について

コロンビア大学は1754年創立の全米でも5番目に古い伝統校で、80人超のノーベル賞受賞者が輩出しました。1912年創立のジャーナリズム大学院は1917年からピューリッツァー賞を運営。研究分野は調査報道、放送、マルチメディア、芸術など多岐にわたり、2010年には大学院内にデジタルジャーナリズム・センターを設置して将来のメディアのあり方を研究しています。

詳しくはこちら www.journalism.columbia.edu

日本経済新聞社について

日本経済新聞社は1876年以来、140年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約1500人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である「日本経済新聞」の販売部数は173万部、2010年3月に創刊した「日本経済新聞 電子版」をはじめとするデジタル有料購読数は91万で、有料・無料登録を合わせた会員数は500万を上回っています。

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 [TEL:\(03\)3270-0251](tel:(03)3270-0251) (代表)